

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学連携事業一覧

■令和5年度 実施事業

	事業名	内容	連携の効果	日程回数等	事業対象者・参加者	大学参加者・協力者	主管	新規継続
1	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学公開講座広報等PR	幼児講座(6)、小学生講座(7)、中学・高校生講座(4)、共通講座(7)、社会人講座(1) 計25講座	健康に対する市民の意識の向上につながった。子どもが体験学習に参加できる機会が増えた。	通年	幼児～成人 604名	教授ほか 33名	生涯学習推進センター	継続
2	立川市立部活動の地域連携及び地域移行に関する検討委員会	市立中学校における部活動の段階的な地域連携及び地域移行について検討するため、立川市立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する検討委員会を設置する。	学識経験者より専門的な意見を得ることができた。	3回	-	早瀬健介教授	指導課	新規
3	立川シティハーフマラソン2024	参加賞引換業務	人材確保において厳しい状況がある中で、多くの学生ボランティアに協力いただき、円滑な大会運営につながった。	3月10日(日)	大会参加者 約8,000名	丸尾祐矢准教授 学生35名	スポーツ振興課	継続
4	教育活動等の外部評価委員会	教育活動の一層の改善・充実を図るため、大学関係者と外部評価委員が意見交換を実施。	毎年自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるために実施することで、教育研究活動の改善と内部質保証の推進が図られた。	2回	大学関係者 外部評価委員	外部評価委員 スポーツ振興課長	スポーツ振興課	継続
5	バドミントンワンポイントレッスン	泉・柴崎体育館の個人開放時に、バドミントンワンポイントレッスンのインストラクターを学生に依頼	専門的な指導を受けることで、基礎技術の向上につながった。	通年 36回	体育館個人開放 参加者157名	学生 各回 1名	スポーツ振興課	継続
6	卓球ワンポイントレッスン	柴崎体育館の個人開放時に、卓球ワンポイントレッスンのインストラクターを学生に依頼	専門的な指導を受けることで、基礎技術の向上につながった。	通年 22回	体育館個人開放 参加者104名	学生 各回 1名	スポーツ振興課	継続
7	東京女子体育大学に在籍するオリンピック派遣等	東京女子体育大学に在籍するオリンピックを市内小・中学校に派遣する。	オリンピック講師による模範演技等を直接目にする中で、児童がスポーツの魅力等を見いだすことができた。	6回	児童・生徒及び教員 (小学校6校) 560名	佐藤理恵准教授 佐藤愛子准教授	指導課	継続
8	第3次環境基本計画等策定事業	第3次環境基本計画等策定にあたり開催したたちかわ環境大学生・高校生ワークショップへの学生の参加。	若い世代の意見を聞く機会を得られた。	12月10日 (日)	大学生・高校生 14名	学生 2名	環境対策課	新規
9	一般健康教室「大人の食育講座」	どうする？運動する子どもの食事～食事を変える！スポーツのためのスタミナ・からだづくり～	子どもの体力や成長、スポーツという子育て世代にも関心が高い分野の栄養と食生活の講座を実施することにより、比較的健康講座の参加が少ない層の受講を促し、子どもの食について学びつつ、自身や家族の栄養や食生活を考えるきっかけとなった。	10月10日 (木) 及び 10月24日 (木)	20歳から64歳までの市民(託児つき) 25名	筒井孝子教授	健康づくり担当課	継続
10	立川市第5次長期総合計画市民ワークショップ	第5次長期総合計画策定にあたり市民ワークショップを開催	立川のこれからの10年間の計画となる長期総合計画に、未来を担う学生の意見を取り入れることができた。	6月～11月 計6回	市民等 49名	学生 2名	企画政策課	新規